

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者までお問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

研究課題名	乳がん腋窩リンパ節転移診断における ^{18}F -FDG 集積の診断精度に関する後ろ向き観察研究
研究実施機関名 および研究責任者	さいたま赤十字病院 放射線診断科 土屋 充輝
研究代表施設 および代表責任者	さいたま赤十字病院 放射線診断科 土屋 充輝
研究期間	実施承認日から西暦 2028 年 12 月
研究の目的と意義	乳がんでは、腋窩リンパ節に転移があるかどうかで治療法や予後が変わるので非常に重要です。 ^{18}F -FDG PET/CT は乳がんの腋窩リンパ節転移の診断能力はまだ十分とは言えません。乳がん細胞がもつ遺伝子の特徴によって、乳がんを分類したものをサブタイプと呼びます。乳がんの性質はサブタイプによって様々で、サブタイプによって乳房の乳がん腫瘍に ^{18}F -FDG の集まりやすいものと集まりにくいものがあることが報告されています。このサブタイプごとの違いが転移先の腋窩リンパ節転移病変への ^{18}F -FDG の集まりや、 ^{18}F -FDG PET/CT の診断能に関係しているかどうか検証します。
本研究の対象となる方	2018 年 8 月から 2025 年 8 月の間にさいたま赤十字病院において、新たに浸潤性乳管癌と診断され治療の前に ^{18}F -FDG PET/CT を受けられた方
提供していただく情報	年齢、性別、既往歴、合併症、身長、体重、BMI、血液学的検査、臨床データの結果（術前後のステージ分類・TNM 分類）、 ^{18}F -FDG PET/CT の画像データ、腫瘍組織の病理学的診断のデータなど
研究内容	介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究
個人情報の取り扱い	研究で獲られた情報はだれのものかわからなくなるように匿名化を行い、研究データとして使用します。この研究では外部へのデータ提供はしません。情報は責任者が漏出がないように厳格に管理します。匿名化したデータを使用するので学会発表や論文発表などで患者さんの個人情報がわかってしまうことはありません。

問い合わせ先

住所：〒330-8553 さいたま市中央区新都心1番地5

所属：さいたま赤十字病院 放射線診断科

担当者：土屋 充輝

電話：048-852-1111